

小宮山 宏 (KOMIYAMA Hiroshi)



株式会社三菱総合研究所 理事長
東京大学第 28 代総長、EMP チェアマン
プラチナ構想ネットワーク会長

東京大学工学部卒業、
同大学院工学系研究科修士課程・博士課程修了。
工学博士。(1973 年～74 年、カリフォルニア大学 (デービス) ポ
スト・ドクトラル・フェロー)

東京大学工学部 助教授、教授、同大学院工学系研究科長・工学部長、2003 年同大学副学長を経て、2005 年 4 月から 2009 年 3 月まで東京大学総長。2009 年 4 月より東京大学総長顧問、三菱総合研究所理事長。また、2009 年 12 月より科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター長を兼任。東大 EMP 創設者の一人で、現在は東大 EMP チェアマン。

また、現在、政府の総合海洋政策本部参与会議座長、プラチナ構想ネットワーク会長などを兼任。

専門は、化学システム工学、機能性材料工学、地球環境工学、CVD 反応工学、知識の構造化など。CVD による薄膜・超微粒子形成プロセス、地球温暖化問題対策技術などを研究している。東京大学総長時代は、「東京大学アクション・プラン」を公表して改革を推進し、現代のリベラルアーツの構築、学術統合化などを進めてきた。

物質とエネルギーの視点から地球が持続的であるために、2050 までの長期を見据えたロードマップ「ビジョン 2050」を提唱する。

主な著書に、『“多様なナンバーワン” 作り プラチナ社会への道筋』(財界研究所)、『Beyond the Limits to Growth』(Springer)、『日本「再創造」 — 「プラチナ社会」実現に向けて』(東洋経済新報社)、『低炭素社会』(幻冬舎新書)、『サステイナビリティ学』(共著、東京大学出版会)、『フロネシス 05 エコと経済の新しい関係 三菱総研の総合未来読本』(編著、丸善プラネット)、『「課題先進国」日本』(中央公論新社)、『東大のこと、教えます』(プレジデント社)、『知識の構造化』(オープンナレッジ)、『太陽光発電工学』(共著、日経 BP 社)、『地球持続の技術』(岩波新書)、『入門熱力学 (培風館)、『反応工学』(培風館)、『地球温暖化問題に答える』(東京大学出版会)、『速度論』(朝倉書店) など、他論文多数。

化学工学会会長、政府の教育再生会議委員、日本学術振興会 21 世紀 COE プログラム委員会委員、国立大学協会会長などを歴任。